ぎょうだ写真帖

11/1 SUN 議場コンサート

行田市役所本会議場で、行田市議会議場コンサートが開催されました。

このコンサートは、市民に開かれた市議会の推進および文化芸術の振興を図ることを目的に初めて開催したもの。

忍小学校４年生代表クラスが美しいハーモニーで「いつだって!」を、行田中学校３年生代表クラスが受験や進路など等身大の気持ちを歌詞に重ね合わせるように「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」を披露し、議場に透き通った歌声を響かせました。

児童・生徒たちは緊張しながらも貴重な思い出を作り、厳粛な議場が温かな音楽に包まれるひとときとなりました。





11/3 TUE 南河原ふれあい祭り

南河原中学校で第18回南河原ふれあい祭りが開催され、朝早くから多くの住民で賑わいました。

体育館では進修館高校ダンス部や行田市民吹奏楽団が祭りに華を添えました。じゃんけん大会では勝敗が決まるたびに歓声や拍手が湧き起こり、勝ち残った参加者には豪華景品が手渡されました。

また、初めて設けられたバイスタンダー応急処置（居合わせた人による応急処置）のブースでは、命を救うための応急手当について真剣な表情で体験する姿も見られました。





10/18 SUN 古墳フェスティバル

アサンテさきたま古墳桜パークのにぎわい広場、さきたまテラス、さきたま広場を会場に「行田古墳フェスティバル2026」が開催され、約３万人が来場しました。

当日は、熱気球体験、シャボン玉ショー、古代人体験などの体験イベントの他、67もの飲食・物販のブースも出展し、多くの人で賑わいました。

ステージイベントでは、古墳シンガー・まりこふんさんが埼玉古墳群のテーマソング「古墳の風」を初披露。会場を大いに盛り上げました。また、小中学生を対象として初開催された「はにわコンテスト」の表彰式も行われ、６人が行田市長賞などに輝きました。







11/8 SUN 行田商工祭・忍城時代まつり

産業文化会館、忍城バスターミナル周辺、忍城址を会場に「第47回行田商工祭・忍城時代まつり」が開催されました。

物産大バザールでは、飲食19店舗、物販７店舗、キッチンカー７店舗、PRブース14団体が集まり、地元グルメや特産品を求める来場者などで賑わいました。

また、昨年雨で中止となった武者行列も晴天の中で行われ、甲冑姿の武者たちが産業文化会館から忍城址まで堂々と行進する姿を、カメラやスマートフォンに収める来場者の姿が見られました。



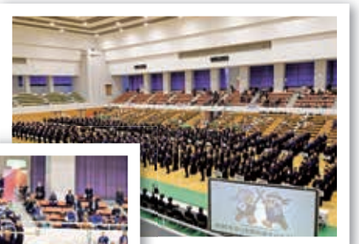


11/8・9 SUN MON ねんりんピック彩の国さいたま2026 剣道交流大会

行田市総合体育館でねんりんピック彩の国さいたま2026剣道交流大会が開催され、全国から69チーム約400名の選手が参加しました。

この大会はスポーツや文化種目を通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため開催されたもの。

会場では、年齢を感じさせない力強い打突や気迫あふれる攻防が繰り広げられ、活気あふれる大会となりました。





11/1 SUN 城熱祭スペシャルin行田

商工センターで「城熱祭スペシャルin行田」が開催されました。

お城好きの祭典として人気の城熱祭と日本遺産に名を連ねる行田市とのコラボイベントが実現。NHK大河ドラマの時代考証を担う黒田基樹氏と平山優氏が小田原合戦に至る経緯、忍城水攻めの経緯や背景を解説した他、歴史研究家の藤井尚夫氏、城郭復元マイスターの二宮博志氏、鈴木郷土博物館長による「忍城から紐解く行田の歴史」を題材にしたトークセッションも行われました。

来場者は、専門家の視点で語られる忍城や足袋の歴史に関する解説に熱心に耳を傾けていました。



10/11 SUN こどもまつり

水城公園市民広場で「第34回浮き城のまち行田こどもまつり」が開催され、らくがきコーナー、イラスト折り紙、バルーンアート作成など６ブースが出展されました。

キラキラしゃぼん玉のブースでは、訪れた親子が協力しながらセロファン紙と竹ひごを組み立てる様子が見られました。完成した竹ひごを回す子どもたちはキラキラと光りながら形を変えるセロファン紙に見入っていました。

